

2024年、政策科学部は設立30周年を迎えました

政策科学部は設立以来、
政策実践力と政策構想力を備えた人材育成に取り組んでまいりました。
10,000人を超える卒業生たちは、
よりよい社会の創造を目指し、世界中で挑戦を続けています。
2025年には立命館学園創立125周年を迎えます。
あらゆる人の挑戦が、希望に満ちた未来につながる社会を目指して、
立命館学園、そして政策科学部は、これからも挑戦を続けます。



RITSUMEIKAN UNIVERSITY 立命館大学

GUIDE 2025

政策科学部

College of Policy Science | Ritsumeikan University

ACCESS



JRでお越しの方は

京都駅	12分	高槻駅	5分	茨木駅	徒歩 約5分
大阪駅			14分		
三ノ宮駅			41分		

阪急電鉄でお越しの方は

京都河原町駅	25分	茨木市駅	2分	南茨木駅	徒歩 約10分
大阪梅田駅			18分		
西宮北口駅	9分	十三駅	14分		

大阪モノレールでお越しの方は

門真市駅	13分	南茨木駅	徒歩 約10分
大阪空港駅	21分	宇野辺駅	徒歩 約10分

※所要時間には乗り換え時間を含みません。

＼ 政策科学部をもっと知ろう ＼



政策科学部ホームページ www.ritsumei.ac.jp/ps/

R 立命館大学 政策科学部

Tel (072) 665-2080 Fax (072) 665-2089
立命館大学 大阪いばらきキャンパス
〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150



この問題、
あなたならどうする？ ①

高齢者の公的年金はたいへんだ。
もう、みんな自己責任で
私的年金に加入する
ほうがいいんじゃない？

思考の旅に出よう。 RITSUMEIKAN UNIVERSITY 立命館大学
政策科学部

この問題、
あなたならどうする？ ②

なにに価値を置き、なにを守りたいのか。
私たちは、互いに理解しあえるだろうか。

思考の旅に出よう。 RITSUMEIKAN UNIVERSITY 立命館大学
政策科学部

さあ、思考の旅に出よう。

この問題、
あなたならどうする？ ③

ふるさとの海を見ながら生きるか、
高い堤防に守られながら生きるか。

思考の旅に出よう。 RITSUMEIKAN UNIVERSITY 立命館大学
政策科学部

この問題、
あなたならどうする？ ④

大型小売店さえあれば、
地元の商店街は
なくなってもいいのだろうか。

思考の旅に出よう。 RITSUMEIKAN UNIVERSITY 立命館大学
政策科学部

この問題、
あなたならどうする？ ⑤

また、地震がきた。
こんなに頻繁に起こるのに
準備をしない
のは、なぜだろう。

思考の旅に出よう。 RITSUMEIKAN UNIVERSITY 立命館大学
政策科学部

問題の解説はこちら



学生証使用
コピー機

Only Print Black & White

この問題、
あなたならどうする？ ⑥

根づいてしまったマイナスイメージ、
払拭するにはどうすればいい？

思考の旅に出よう。 RITSUMEIKAN UNIVERSITY 立命館大学
政策科学部

この問題、
あなたならどうする？ ⑦

母校が老朽化したら、
あなたの税金で
建て直す？ 取り壊す？

思考の旅に出よう。 RITSUMEIKAN UNIVERSITY 立命館大学
政策科学部

政策科学部とは？

私たちの世界には、日々さまざまな問題が起こっています。

これらの問題は、国や地域を超え、時代を超え、お互いに関連しあい、影響しあっています。

戦争、災害、環境、飢餓、高齢化、雇用、犯罪—どの問題も放置することはできません。

問題の背後には苦しんだり、悲しんだり、悩んだりしている多くの人々がいるからです。

こうした問題に対し、広い視野をもって理解し、その解決を展望し、

時代を構想できる人材を育成することを目指し、

1994年に政策科学部は設立されました。

現代社会が抱える複雑な問題は、1つの学問領域で完結するものではなく、

人文科学・社会科学・自然科学など、さまざまな学問の観点から捉える必要があります。

政策科学部では「**公共政策**」「**環境開発**」「**社会マネジメント**」の

3つの学系を柱とした教学を展開しています。

それぞれの学系を系統的・横断的に履修することで、

既存の学問の壁を超えた視点から、

問題発見、現状分析、政策提言を行い、

よりよい社会の創造を目指します。



01 小集団で学ぶ

学びの特色

仲間とともに学びながら、発見→調査→探求→発信のサイクルを実践

政策科学部では、1～4回生のすべての学年で「政策科学演習科目」という小集団授業を受講します。政策科学演習科目では、ディスカッションやグループワーク、現地調査などを通じて、批判的思考や論理的な表現、実践力を身につけ、学びの集大成として「学士論文」を執筆します。

政策科学演習科目 4年間の流れ



政策科学の学びの出発点です。リサーチとプレゼンテーションを繰り返し行うことで、論理的思考力・批判的思考・多角的思考・表現力・文章力などを身につけます。

共通のテーマに関心のある学生と研究グループ(プロジェクト)を編成します。プロジェクトごとに現地調査を行い、社会問題や政策課題への理解を深めます。

ゼミナール(ゼミ)に所属し、政策構想力を深めていきます。これまで学んできた研究手法と、様々な学問分野での学びから、研究テーマを決めていきます。

政策科学部での学びの集大成となるのが「学士論文」です。論文の執筆過程で得た、調査力、行動力、発信力は卒業後の進路においても役に立つでしょう。

ゼミ紹介

豊田ゼミ「政策科学からアプローチする防災」

防災に関する研究であれば学生が自由にテーマを設定することができます。理論を学ぶだけでなく、現場での実践を通じて学ぶことを重視しており、行政、民間企業、地域コミュニティなどと連携して防災イベントを企画・実施するなど、様々な活動を通じて政策のあり方を考えています。

豊田 祐輔 政策科学部 准教授

本学大学院政策科学研究科博士後期課程 修了。博士(政策科学)。立命館グローバル・イノベーション研究機構リサーチ・アシスタントなどを経て現職。立命館大学歴史都市防災研究所メンバーならびに地域情報研究所メンバーを兼任。



VOICE /

地域の方々と連携して防災意識を高めるイベントを企画・開催

高校生の頃から興味を持っていた地方創生・地域活性化に多様な視点からアプローチできると考え、政策科学部を志望しました。豊田先生のゼミでは、地域の方々と連携して、防災について意識を高めてもらうことに力を入れています。学内イベント「いばりつ」や、南海トラフ巨大地震で大きな被害が想定される地域の一つである高知県に出向いて、防災ゲームの企画・開催を行いました。子どもを含む幅広い世代の方々と関わりを持つことで地域の特性にも触れることができ、地域の人やまちの特徴に合わせた防災を考える必要があると実感しました。多くのイベントを通して、多様な価値観・人・地域に触れ、幅広い視点に立って物事を捉える力が身についたと感じています。



卒業後は、総合印刷企業に営業職として就職予定です。自治体や地域企業との取引を通じて地域活性化・地方創生に尽力し、防災に関わる案件にも携わりたいと考えています。



清水 彩夏 さん

政策科学部 政策科学科4回生
兵庫県・西宮市立西宮高校出身

02 実践的に学ぶ

学びの特色

国内・海外の政策現場で「実際」を読み解く

政策科学部では、「PBL(Project/Problem-Based Learning:問題解決型学習)」に重きをおいています。PBL型の学びとして最も特徴的なのが、2回生で受講する「研究実践フォーラムI・II」です。この科目では、共通のテーマをもつ学生同士で研究グループ(プロジェクト)を編成します。プロジェクトは、学生が自主的にテーマを設定した「自主プロジェクト」と、教員がテーマを提案する「特定プロジェクト」に分かれ、実際に現地へ赴き、フィールドワークを行います。

研究実践フォーラム I・II プロジェクト一例



VOICE /

東南アジア最大のスラムで貧困の実態を知り「理論と実践の両立」の大切さを学んだ

参加プロジェクト: フィリピンプロジェクト

東南アジアの貧困について学びたいと思い、フィリピンプロジェクトに参加しました。特に印象に残るのは、東南アジア最大級のスラム、トンド地区での経験です。狭い通路を通り、今にも崩れそうな家屋に邪魔してお話を聞きました。中は非常に狭く、耐えられないほどの蒸し暑さで、同じ人間がここで生活しているということが信じられませんでした。実際に貧困に苦しんでいる人たちの生活を目の当たりにすることで、他国のことであっても人類として取り組むべき重要な課題だと認識するようになりました。「理論と実践の両立」の大切さも知りました。データや文献を読むことは大切ですが、フィールドを見なければ机上の空論にすぎません。逆にフィールドで得た一次情報だけでは客観性のない独りよがりなものになってしまいます。大学卒業後は海外の大学院進学を希望しており、理論と実践をバランスよく両立させながら、研究を進めたいと考えています。



バスケットで遊ぶスラム街の子どもたち



藤本 悠人 さん

政策科学部 政策科学科3回生
N高校出身

03 グローバルに学ぶ

学びの特色

国際的視野を獲得し、よりよい世界を創造するための解決策を探る

政策科学を学ぶうえで、異なる文化や価値観を理解し、国を超えた視点で問題をとらえる国際的視野は不可欠です。政策科学部では、国際的視野を獲得するためのカリキュラムを4年間の学びの中に組み込んでいます。

政策英語科目 (EPS: English for Policy Science)

政策科学部では「英語を学ぶ」のではなく、政策科学にかかわるトピックや研究方法を「英語で学ぶ」ための科目を展開しています。政策英語科目は使用言語やアクティビティの内容により、以下の3つのタイプに分かれます。

Type A

授業の使用言語がすべて英語

授業をすべて英語で行うので、留学を希望する学生にとっては、必要な力を養う機会となります。また一部の科目は英語基準の留学生と同じクラスで学ぶので、国際交流を実践する場になります。

Type B

英語文献・専門書の講読

入門レベルから高度に専門的なものまで、政策科学の学習に必要な基本概念、理論、争点を概説する英語文献を講読します。また、授業によってはアカデミックな英語のリスニングを行います。

Type C

PBL 型の英語学習

学習の成果物をが社会貢献に結びつくような PBL 型(問題解決型学習)の授業を行います。大学の広報動画に字幕をつけるなど、外国人にとって有用な情報を英語化するプロジェクトがあります。

Community and Regional Policy Studies (CRPS) 専攻

政策科学部では、日本語を基本としたカリキュラムを行う「政策科学専攻」と、すべてのカリキュラムを英語で行う「Community and Regional Policy Studies (CRPS) 専攻」の2つの専攻があります。CRPS 専攻では、さまざまな国や地域の学生が集まり、それぞれの国や地域が抱える諸課題を共有しながら学びを深めていきます。

政策科学専攻の学生も一定の語学基準を満たせば、CRPS 専攻の科目を受講することができます。CRPS 専攻生と交流しながら学ぶ科目(「Cross Border Policy Issues」)もあります。

また、政策科学専攻の学生と CRPS 専攻の学生との交流イベントを実施しており、授業外においてもグローバル・ダイバーシティな環境を提供しています。



学部独自の留学制度

立命館大学では全学部の学生が参加できる留学プログラムを実施していますが、政策科学部では政策科学部生のみが参加できる学部独自の留学プログラムも実施しています。英語をはじめ、中国語、朝鮮語、イタリア語といった初修外国語の運用能力を伸ばす機会も提供しています。

交換留学 (半年または1年)

中国 …… 東北財経大学(中国語)
タイ …… マヒドン大学(英語)
韓国 …… 国民大学校(朝鮮語、英語)、韓国海洋大学校(朝鮮語)
イタリア …… ベルガモ大学(英語、イタリア語)

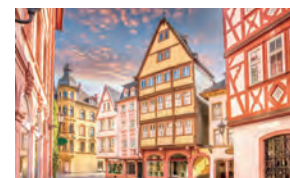
グローバル言語科目 (LGA: Languages for Global Actions)

英語だけでは現代の政策課題を考えることはできません。

複数の言語を用いてコミュニケーションが行えることは、異なる文化や価値観を理解するうえで非常に重要です。

政策科学部では、10の語種から1つ選んで学習するグローバル言語科目(LGA)を展開しています。

グローバル言語科目で得た言語運用能力を活かし、海外調査実習に取り組みます。



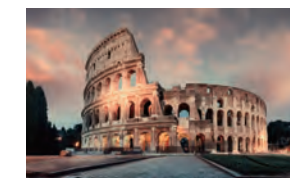
Deutsch
ドイツ語



Français
フランス語



Español
スペイン語



Italiano
イタリア語



Русский язык
ロシア語



10 語種から 1 語種を選択



中文
中国語



한국어
朝鮮語



ภาษาไทย
タイ語



Tiếng Việt
ベトナム語



Bahasa Indonesia
インドネシア語



VOICE /

異なる経験・文化・宗教をもつ人々と出会い 「本当にしたいこと」を見つめ直すきっかけに

参加プログラム:

立命館・アルバータ「北米の言語・文化・社会」プログラム(2023年8月~2024年4月)

8カ月間のカナダ留学。前半はアルバータ大学の語学学校に通い、後半は現地の学生と一緒に大学の講義を受けました。講義では、現地学生と同じようにテストやレポートも課されるため、追いつこうと人一倍勉強しました。講義に積極的に参加し、毎日図書館で勉強する学生の多い環境で、私もモチベーションを高めることができました。

私には想像もできないような経験を持つ人、全く異なる文化や宗教を持つ人など、さまざまな人と出会い、無意識のうちに自分が日本の「常識」にとらわれていたことに気が付きました。卒業後は就職することが当たり前だと思っていましたが、カナダの友人たちから人生の選択肢はたくさんあり、自身の興味や将来の目標に応じて自由に選べることを学びました。カナダでの経験は「私が本当にしたいことは何か」を見つめ直すきっかけになりました。その結果、現在はデザイナーになる夢に向かって勉強中です。周りとは異なる選択ですが、新しい目標に向けて頑張りたいと思います。



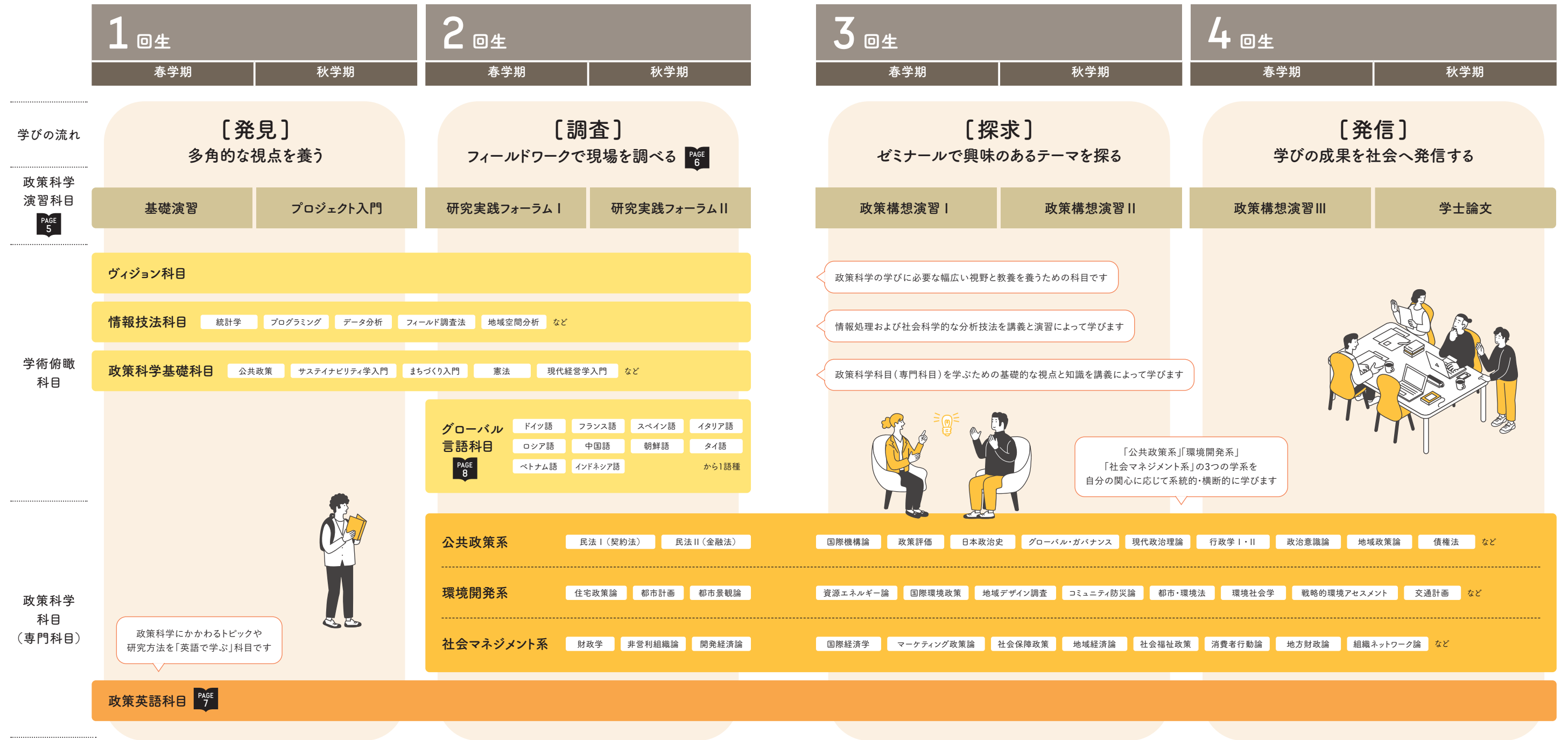
バンクーバー発祥の地 ガスタウン



森 千紘さん

政策科学部 政策科学科4回生
兵庫県・甲南女子高校出身

4年間の学び



2023年度 学士論文テーマ例

公共政策系

- 児童虐待の現状と家族再統合の意義
ー親子関係再構築支援に着目してー
- 映画作品の日米比較-タイトルや広告に焦点を当ててー
- 20世紀のフィンランドの対ソ連・ロシア外交
- 非頻出語に着目した議論活発化手法に関する研究
ーテキストアナリティクス、データの可視化を中心にー
- 災害時における飼い主とペットの避難行動のあり方

環境開発系

- イベント主催者へのインタビュー調査を通じた
リユース食器普及方法の検討
- 海洋ゴミを用いたワークショップ形式の学習プログラムの開発と評価
ーKJ法及びテキストマイニングによる分析結果ー
- 農業体験農園がまちづくりで果たす役割についての考察-京都の事例から-
- 林業従事者の雇用定着率向上における「緑の雇用」事業の効果と課題
- 新今宮駅周辺地域の再開発とジェントリフィケーション

社会マネジメント系

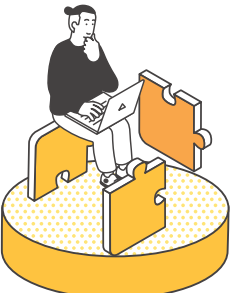
- ヤングケアラーの現状と課題および支援のあり方の研究
- 大学進学における親から子どもへの影響
ー子どもの性別による差に着目してー
- 日本版・滋賀版交通税の可能性
ーフランス型交通税とアメリカ・ポートランドの賃金税の事例を参考にー
- 安価な和菓子を普及させるには:
グローバルマーケティングの視点から



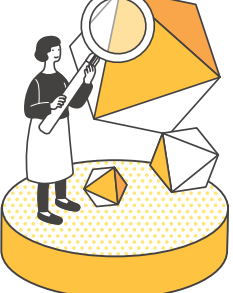
進路・就職状況

カリキュラム体系のほとんどがキャリアデザインとも言える政策科学部。
政策科学部での4年間の学び・経験を活かし、多くの卒業生が社会で活躍しています。

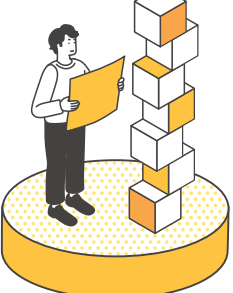
政策科学部で身につく力



論理的思考力



多角的視野

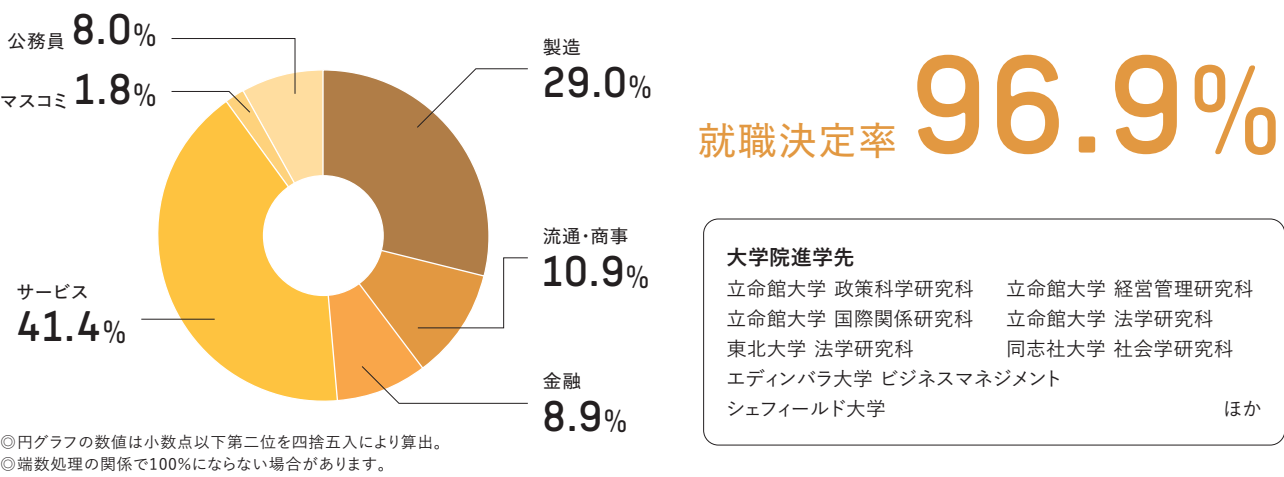


実践力



発信力

2023年度卒業生 業種別進路決定状況



2023年度卒業生 進路・就職先一例

国税専門官	KDDI(株)	日本航空(株)
国家公務員一般職(法務省)	(株)コーセー	パナソニック(株)
国家公務員一般職(経済産業省)	JFEスチール(株)	パナソニックホールディングス(株)
労働基準監督官	(株)JTB	PwCコンサルティング合同会社
地方公務員(上級職)	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)	富士ソフト(株)
アビコムコンサルティング(株)	住友生命保険相互会社	富士通(株)
(株)伊藤園	住友電気工業(株)	本田技研工業(株)
(株)エイチ・アイ・エス	積水化学工業(株)	(株)マイナビ
(株)NTTデータグループ・(株)NTTデータ・(株)NTT DATA,Inc	大和ハウス工業(株)	三菱電機(株)
オリックス(株)	トヨタ自動車(株)	(株)三菱UFJ銀行
(株)キーエンス	日本通運(株)	(株)村田製作所
京セラ(株)	(株)ニトリ	(株)リクルート

<50音順>

2023年度公務員決定者数

国家公務員

9名

- 国税専門官
- 国家公務員一般職(気象庁)
- 国家公務員一般職(経済産業省)
- 国家公務員一般職(厚生労働省)
- 国家公務員一般職(法務省)
- 労働基準監督官
- ほか

地方公務員

17名

- 岡山県
- 東京都
- 奈良県
- 大阪市
- 堺市
- 東京都特別区
- 箕面市
- 京都府
- 鳥取県
- 宮崎県
- 京都市
- ほか

行政政策プログラム(PAP:Public Administration Program)

政策科学部では、重要な政策過程の現場である公務員分野への進出を目指す学生に対し、「行政政策プログラム(PAP)」を提供しています。
本プログラムでは、4 回生時に公務員採用試験を受験できるように、公務員試験に必要な法律学・政治学・行政学の基礎と発展を3回生終了時まで習得します。



MESSAGE / 卒業生からのメッセージ

持続可能なビジネスモデルの構築を推進し
社会的な価値の創造に努めたい



谷 直樹 さん
オムロン株式会社 グローバル戦略本部
(政策科学部 政策科学科 2018年卒業)

地元である関西を盛り上げたいという思いから、関西の企業を中心に就職活動を行いました。オムロン株式会社に入社を決めたのは、政策科学部での学びと調和するビジネス展開に魅力を感じたからです。現在は戦略企画部門で健康経営アライアンスの立ち上げなどに携わっています。実現のプロセスには多くの壁が存在し、乗り越えるには政府や研究所など、協力的なパートナーとの連携が欠かせません。政策科学部で学んだ公共政策の知識や、社会問題へ取り組んだ経験によって、利害関係者の立場を考慮しながら、最善の解決策を提案することができています。今後は社会的な課題に取り組み、持続可能なビジネスモデルを築くことが目標です。身につけてきた経営知識を実務で活用し、社会的な価値を創造する努力を続けたいと考えています。

2014年4月、政策科学部入学。2016年、カリフォルニア大学デービス校に約半年間留学。2018年3月の卒業を経て、オムロン株式会社入社(グローバルプロセス&IT革新本部)。2021年、Hult International Business School MBA 入学(2023年卒業)。2022年、オムロン株式会社グローバル戦略本部。

金融行政のエキスパートとして
人々の生活基盤や公正な取引を支えていきたい



鳥取 歩実 さん
金融庁 証券取引等監視委員会事務局取引調査課
(政策科学部 政策科学科 2020年卒業)

国の中心に近いところで働いてみたいと考えるようになり国家公務員を目指しました。特に人々の生活基盤である金融を支える仕事に就きたいと考え、金融庁を志望しました。現在は、庁内にある証券取引等監視委員会事務局で不正取引の調査を行っています。不正取引の有無を調査し、取引を行った者や上場企業に対して立ち入り検査や質問調査を行う仕事です。立命館大学を選んだのは、キャンパスの設備やカリキュラムが充実し、学ぶ環境が整っている点に魅力を感じたからです。学生同士で学び合えるラーニング・コモンズの設備も充実しており、グループワークやディスカッションにも熱心に取り組みました。調査の仕事は対話力が不可欠です。政策科学部での経験が今の職務に役立っています。今後は、多岐にわたる業務を経験し、金融行政により深く携わっていきたいと考えています。

2016年4月、政策科学部入学。2020年4月、金融庁入庁。証券取引等監視委員会事務局取引調査課では、不正取引の有無を調査し、違反行為が認められた場合は内閣総理大臣及び金融庁長官に課徴金納付命令勧告を発出。金融行政のエキスパートとして社会を支える。